



# 安佐市民病院 建て替え場所 地域の同意得て新年度決定



## 新病院計画詳報

現在地(点線内建て替え) 荒下県住跡(空き地部分)

現在地(点線内建て替え) 荒下県住跡(空き地部分)

現在地(点線内建て替え) 荒下県住跡(空き地部分)



的に動き出す建て替え関連の経費を2013年度当初予算案に盛り込まなかった。現在地から移転候補地の備前・荒下地区(県住跡)から住民などの意見が分かれていた。理由として建設場所の結論を先送りした。今後、市は白紙の状態を検討し、地域の同意を得て結論を出す方針。

## 安佐北区で候補地2案説明、意見分かれる



市は建て替え計画が具体化し、住民の意見を聞き、現在地と荒下地区などでは旧町の2候補地の規模や機能など構想を説明し、住民の意見に動かし出す建て替え関連の経費を2013年度当初予算案に盛り込まなかった。現在地から移転候補地の備前・荒下地区(県住跡)から住民などの意見が分かれていた。理由として建設場所の結論を先送りした。今後、市は白紙の状態を検討し、地域の同意を得て結論を出す方針。

安佐市民病院周辺の可部南学区町内会自治会連絡協議は昨年、現在地での建て替えを求め、2月までに安佐北区の団体は2月から署名活動を始めた。高陽地区などでは旧町の合併時の合意で現在地に決まっていた経緯も挙げられている。

11年の入院患者数は約1万3千人。外来患者数は4万5千人で、可部・安芸高田地区の患者が32%を占める。市内他の区は26%、高陽・白木20%、安佐・北広島・安芸太田13%、備前・島根9%。

### 建て替え機に医療機能充実

市は建て替えに当たって新病院は「高度で先進的な医療機能の充実」を目指す。がん治療や心筋梗塞、脳卒中、救命、周産期、変性疾患、災害の各医療を充実。救命救急センターの設置も視野に入れ、ヘリポートも作る。北部の病院支援と患者の受け入れでは、医師の派遣や研修機能で勤務医を支援。患者や家族の宿泊にも対応する。

(次ページに関連)

安佐市民病院建て替え場所

市説明 2候補地の特長、課題

現在地案



①交通の利便性  
車道54号からJR可部線を横断し、渋滞するが、国道から近い。国道広島一中島線が接続する高岡一可部線に面している。

バス＝国道54号のバス停から徒歩4分、JR＝中島、可部両駅の中間。中島駅から徒歩8分。

②建て替え時の予想される影響  
患者の不便＝長期（7年）の工事による騒音、振動などによる診療への影響を懸念。建物の段階的な整備で診療室を再三変更するの患者に負担。

③建設期間＝▽基本構想・基本計画・基本設計・実施設計＝4年

④道路整備  
可部高校入り口でストップしている可部大毛寺線と安佐市民病院前での高岡一可部線の整備を促進し、病院周囲の慢性渋滞を解消する。

⑤建物＝北館を除く既存の建物を順次解体して新館を建設。地上10階。

⑥駐車場＝現在患者用300台、職員用432台（民間駐車場を個人借り）

⑦荒下地区に移転後の現病院の跡地活用  
跡地は地域の活性化に活用する。若者などが多く集まり、地域に活力が出る施設や高齢者が安心して暮らせる設備を整備する。考えられる施設は医療・福祉

⑧必要敷地面積＝4万平方メートル

⑨可部バイパス高架（安佐北署前）南の交差点付近から病院までの太田川堤防上に道路を整備し、工事車両と病院利用者の通行の便宜を図る。

⑩病院完成までに現在、工事中の県道宇津一可部線を拡幅する。

⑪家電イオン西、亀山2丁目の可部＝大毛寺線交差点と県道宇津一可部線を結ぶ安佐北3区128号線の一部を拡幅。

⑫建物＝地上8階

⑬駐車場＝11000台（患者用5000台、職員用5000台）

⑭新設駅  
可部線の電化延伸による終点駅と病院を直結し、来院者の便宜を図る。

⑮必要敷地面積＝4万平方メートル

⑯可部バイパス高架（安佐北署前）南の交差点付近から病院までの太田川堤防上に道路を整備し、工事車両と病院利用者の通行の便宜を図る。

⑰病院完成までに現在、工事中の県道宇津一可部線を拡幅する。

⑱家電イオン西、亀山2丁目の可部＝大毛寺線交差点と県道宇津一可部線を結ぶ安佐北3区128号線の一部を拡幅。

⑳建物＝地上8階

㉑駐車場＝11000台（患者用5000台、職員用5000台）

（2012～15年度）  
▽工事＝7年（16～22年度）合計11年。  
④道路整備  
可部高校入り口でストップしている可部大毛寺線と安佐市民病院前での高岡一可部線の整備を促進し、病院周囲の慢性渋滞を解消する。

⑤建物＝北館を除く既存の建物を順次解体して新館を建設。地上10階。

⑥駐車場＝現在患者用300台、職員用432台（民間駐車場を個人借り）

⑦荒下地区に移転後の現病院の跡地活用  
跡地は地域の活性化に活用する。若者などが多く集まり、地域に活力が出る施設や高齢者が安心して暮らせる設備を整備する。考えられる施設は医療・福祉

⑧必要敷地面積＝4万平方メートル

⑨可部バイパス高架（安佐北署前）南の交差点付近から病院までの太田川堤防上に道路を整備し、工事車両と病院利用者の通行の便宜を図る。

⑩病院完成までに現在、工事中の県道宇津一可部線を拡幅する。

⑪家電イオン西、亀山2丁目の可部＝大毛寺線交差点と県道宇津一可部線を結ぶ安佐北3区128号線の一部を拡幅。

⑫建物＝地上8階

⑬駐車場＝11000台（患者用5000台、職員用5000台）

⑭新設駅  
可部線の電化延伸による終点駅と病院を直結し、来院者の便宜を図る。

⑮必要敷地面積＝4万平方メートル



社を学ぶ大学や学部、学生の実習の場にもなる高齢者・障害者の福祉施設、サービス付き高齢者向け住宅、区民

荒下地区案

①交通の利便性  
車道54号から西1・2番と近い。周辺道路の整備が不十分。国道広島一中島線から遠く可部線を横断するバス＝現在、運行は1日5便。国道54号から遠い。

②JR＝可部線の延伸で新駅ができれば病院と直結

③建て替え時の予想される影響  
現病院で診療しながらの工事なので患者への影響はない。しかし、以下の課題がある。

④道路整備  
新設病院への道路を整備し、アクセスを確保する。

⑤可部バイパスの4車線化＝大林開通までJR中島駅付近の国道54号別れの入り口から191号交差点までを4車線にする。

⑥可部バイパス高架（安佐北署前）南の交差点付近から病院までの太田川堤防上に道路を整備し、工事車両と病院利用者の通行の便宜を図る。

⑦病院完成までに現在、工事中の県道宇津一可部線を拡幅する。

⑧家電イオン西、亀山2丁目の可部＝大毛寺線交差点と県道宇津一可部線を結ぶ安佐北3区128号線の一部を拡幅。

⑨建物＝地上8階

⑩駐車場＝11000台（患者用5000台、職員用5000台）

⑪新設駅  
可部線の電化延伸による終点駅と病院を直結し、来院者の便宜を図る。

⑫必要敷地面積＝4万平方メートル

⑬可部バイパス高架（安佐北署前）南の交差点付近から病院までの太田川堤防上に道路を整備し、工事車両と病院利用者の通行の便宜を図る。

⑭病院完成までに現在、工事中の県道宇津一可部線を拡幅する。

⑮家電イオン西、亀山2丁目の可部＝大毛寺線交差点と県道宇津一可部線を結ぶ安佐北3区128号線の一部を拡幅。

⑯建物＝地上8階

⑰駐車場＝11000台（患者用5000台、職員用5000台）

⑱新設駅  
可部線の電化延伸による終点駅と病院を直結し、来院者の便宜を図る。

⑲必要敷地面積＝4万平方メートル

会と催し

★本郷地区の人と家畜の会（ひまわり）の集い 18日（日）本郷1時～3時半。安佐北署公民館。大正11年開会。大正11年開会。大正11年開会。

★大市立安佐北署公民館「おはな」 10日（日）午前10時～12時。公民館。10日（日）午前10時～12時。公民館。

★「おはな」の集い 10日（日）午前10時～12時。公民館。10日（日）午前10時～12時。公民館。

★「おはな」の集い 10日（日）午前10時～12時。公民館。10日（日）午前10時～12時。公民館。

★「おはな」の集い 10日（日）午前10時～12時。公民館。10日（日）午前10時～12時。公民館。

★「おはな」の集い 10日（日）午前10時～12時。公民館。10日（日）午前10時～12時。公民館。

★「おはな」の集い 10日（日）午前10時～12時。公民館。10日（日）午前10時～12時。公民館。

★「おはな」の集い 10日（日）午前10時～12時。公民館。10日（日）午前10時～12時。公民館。

★「おはな」の集い 10日（日）午前10時～12時。公民館。10日（日）午前10時～12時。公民館。

★「おはな」の集い 10日（日）午前10時～12時。公民館。10日（日）午前10時～12時。公民館。

- ★可部公民館
  - ★はつらつみんなを元気にする 28日（土）午後7時～9時。公民館。先着30人。健康講座。
  - ★おはな 10日（日）午前10時～12時。公民館。
- ★亀山公民館
  - ★おはな 10日（日）午前10時～12時。公民館。
- ★三入公民館
  - ★おはな 10日（日）午前10時～12時。公民館。



大上心通ちゃん 香空くん  
（龜山西2丁目）  
父涼さん、母友子さん。心通ちゃん  
は3歳（2010年2月1日生まれ）。  
生まれた時2716g。現在13kg。4  
月から幼稚園。自転車に挑戦中。香空  
くんは1歳3カ月（11年11月7日生ま  
れ）。

生まれた時  
3424g。  
現在10kg。  
1歳で歩き  
出す。両親  
は「仲良し  
の友だちが  
たくさん出  
来る子ども  
」と期待。



田村咲菜ちゃん  
（龜山南5丁目）  
2歳（10年7月28日生まれ）  
父典之さん、母いずみさん。生まれ  
時3430g。現在13kg。歌が好きで、  
「こぎつねこんこん」を手拍子取って歌  
う。昨年12月7日、妹の果穂ちゃんが生  
まれ、お姉ちゃんに、果穂ちゃんを、お  
もちやであやしたり、「こぐまちゃん」

の絵本を  
シリーズ  
かせする  
りをする  
妹思いの  
一姉妹仲  
良く元気  
に育つて  
と両親。

2013年(平成25年)3月1日(金曜日)

安佐市民病院建て替え計画

# 現在地344億円 移転は339億円

市が事業費試算

広島市は28日、安佐市民病院(安佐北区可部南)の建て替え計画で、事業費の試算を公表した。現在地で344億円、JR可部線の

電化延伸で終点駅となる安佐北区荒下地区に移転の場合は339億円としている。

市議会予算特別委員会、病院事業局が明らかにした。市は現在地での建て替えか、荒下地区を候補地とした移転を検討している。

病院事業局によると、現在地の場合は段階的に整備するために工期が延び、移転するより5億円高くなるという。

委員からは、移転案に対し「JR可部線の延伸と抱き合わせで、移転ありきだ」と、市の進め方への不満や説明不足を指摘する意見が出た。松井一実市長は「疑念が抱かれるようなことは一切ない。地元によりよい方策を見いだしたい」と答えた。また、地元から懸念の声が相次ぐ周辺の道路整備に関し、病院事業局は「移転の有無にかかわらず、病院開設までに周辺の道路整備を目指す」と述べた。

(加納亜弥)